

平成29年度 大阪府立りんくう翔南高等学校

第2回学校協議会の記録

日時 平成29年10月18日(水) 14時30分～16時30分

場所 大阪府立りんくう翔南高等学校 プレゼンテーションルーム

協議委員 林田氏、大里氏、野村氏、若狭氏、岡崎氏、田中氏

事務局 藤田、佃、田中、紺谷、岩出、若狭、明山、津村、石橋、溝、堀内、楠本、垂井

次 第

1. 校長挨拶

2. 今年度の取り組みと現状報告

①29年度第1回授業アンケート集計結果(校長)

先生は、生徒の意見や要望を取り入れ授業改善に生かしているが、様々な意見を集約し、課題はパッケージ研修を経て改善していこうと思う。

②進路中間報告(進路主事:田中)

就職は例年通り 一部結果待ち

大学進学 指定校推薦を利用する生徒減。公募でチャレンジする意欲か。

③生徒の状況(生徒指導主事:紺谷)

遅刻集計 昨年度より減っている。各学年ともに減少。3822回から3265回へと減少。

遅刻指導での成果か。 6500回以内にする

課題は登下校のマナー

④保健室利用状況(保健主事:若狭)

- ・GW以降来室増 祭りで寝不足、友人関係、進路の悩み など。
- ・年度別の利用状況 徐々に減ってきている。(ただ寝る生徒減・がんばれる生徒増)
- ・生徒別での利用状況 1年生の利用多い。7期生(3年生)の相談が多い。
- ・病状別での利用状況 内科での保健室利用多い。
- ・スクールカウンセリングの利用状況 本年度の利用状況多い。(先生の利用も)

外部からのSCの先生が来校。

⑤翔南祭について(生徒会:明山)

今年度は地域の老人会を招待 当日の券の販売

各部門の生徒が質の高い催しを行った。(3年生の動画を用いた劇発表)

⑥専門コース 中間報告(首席:田中)

予備調査 1年生 ハートフルほいく(42名) 文系4クラス 理系・看護(47名)

カリキュラム報告

教科書採択結果 報告(各科目での議事録作成)

⑦各学年の状況について

1年:石橋 翔南祭を通して学年のつながりが強まった。以前は、昼休みに各クラスに孤立している生徒もいたが、翔南祭準備期間で、そういった孤立した生徒が打ち解けた。生徒の中には気の緩んだ生徒あり、2年生に全員が進級できるために取り組んでいく。

2年生：溝 各行事での中心になってほしいとは思いますが学校運営のほうでは物足りない状況。高校生活の中間地点を超え高校生活の充実を図る。

3年生：堀内 3年生進路状況例年並み。進路の決まった生徒が授業等で騒がないようにするのが課題。レスリング同好会の報告（全国大会出場、近畿大会出場）

3 協議

今後の本校の取り組み（進学指導、地域交流、国際交流など）

岡崎氏：高校三年生の有権者教育について

堀内：現代社会の授業のみならず、各教科での取り組みに加えて3年生では、投票の授業などをする。選挙はいかなければならないのでは無く選挙は権利であることを学ぶ。公職選挙法とは何かということに触れる。

岡崎氏：進路指導・キャリア教育での方向性について。りんくう翔南での方向性。

田中：本人・保護者と協力する。ただ、様々な情報を持ったうえで選択する必要がある。学校内での講演「企業とお金」での高卒大卒との違い。大学に行くことのメリットなどを伝える。成績と進路は必ずしも一致することではない。その生徒の家庭の状況などもある。

林田氏：学校教育計画の取り組みについての評価が学校でのアンケートでしかないのでは。

大里氏：その評価については第三回の学校協議会で行う。

大里氏：働き方改革。特に土日のクラブ活動について。

校長：呼びかけはしているが、我々の力不足か仕事をおさめられないのか。現状は不十分。クラブ活動は継続するのか休ませるのかまだ試行錯誤。

若狭氏：生徒の態度の悪さ。道徳教育が不十分。進学する学力などの目先の学力よりも社会的な態度を改めなおす必要あり。

野村氏：型に当てはめた道徳教育を行うのではなく、様々な体験活動などを通して今までとは違う方向性で試みては。

校長：教育時間のなかで取り入れてはいない。「相手の心を考える力」AIには思いやりの力はない。人間がAIに勝てるのはそういう「思いやりの力」である。

4 校長謝辞

5 諸連絡 次回 平成30年2月1日（木） 14時30分 ～ 16時30分